

令和元年度2月補正予算の概要について

令和2年3月2日

(単位：千円)

一 予算規模

1 一般会計

補正額 $\Delta 21,763,732$

補正後の規模 $594,178,405$

前年度2月補正後予算との対比 $\Delta 17,482,716$
(2.9%減)

《補正予算の財源》

特定財源 $\Delta 20,114,059$

国庫支出金 $\Delta 7,257,958$

繰入金 $\Delta 6,793,189$

諸収入 $\Delta 2,966,517$

県債 $\Delta 3,064,400$

その他 $\Delta 31,995$

一般財源		△1,649,673
県 税		△2,926,818
地方消費税清算金		△2,442,000
地方譲与税		△24,767
地方交付税		△374,696
国庫支出金		△548,492
繰入金		434,243
繰越金		4,121,127
県 債		△1,329,700
その他		1,441,430

2 特別会計

証紙特別会計		△188,409
母子父子寡婦福祉資金特別会計		53,426
就農支援資金貸付事業等特別会計		△1,131
中小企業設備導入助成資金特別会計		△15,335
土地取得事業特別会計		13
工業団地開発事業特別会計		△13,118
市町村振興資金特別会計		251,193
能代港エネルギー基地建設用地整備事業特別会計		△43,688
下水道事業特別会計		△187,943
港湾整備事業特別会計		△14,377

秋田港飯島地区工業用地整備事業特別会計	△268
環境保全センター事業特別会計	△502,081
公債費管理特別会計	△3,281,900
県立病院機構施設整備等貸付金特別会計	△29,935
国民健康保険特別会計	3,112,237
3 企業会計	
電気事業会計	△18,681
工業用水道事業会計	△10,118

二 補正予算の主な内容

今回の補正予算は、農林漁業振興臨時対策基金の積み増しを行うほか、決算見込みに伴う事業費の増減などについて計上した。

I 基金造成

- | | |
|---|-----------|
| (1) 農林漁業振興臨時対策基金積立金 | 2,000,012 |
| 本県農林水産業の成長産業化に必要な施策を集中的かつ機動的に実施するため、基金の積み増しを行う。 | |
| (2) 地域医療介護総合確保基金積立金 | 25,376 |
| 地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。 | |
| ・積立額 25.4百万円（国2/3、県1/3） | |
| (3) 財政調整基金積立金 | 2,784,728 |
| 平成30年度決算剰余金の1/2等を基金に積み立てる。 | |

【参考】令和元年度末財政2基金残高見込み

財政調整基金	10,752百万円
減債基金	22,405百万円
計	33,157百万円

（市場公募債償還財源を除く実質残高は29,857百万円）

II 公共事業

【国の内示等に伴う増分】	833,370
(1) 国庫補助事業	820,557
・土地改良	740,557 (15,967,480 → 16,708,037)
・農地防災	80,000 (4,640,841 → 4,720,841)
(2) 県単事業	12,813
・河川	12,813 (5,130,659 → 5,143,472)
【決算見込みによる減分】	△8,346,139
(1) 国庫補助事業	△2,703,645
(2) 災害復旧事業	△5,021,555
(3) 国直轄事業負担金等	△620,939

Ⅲ その他

- (1) 地域情報格差解消事業 39,417
市町村が実施する情報通信基盤施設の整備に対し助成する。
・事業内容 移動通信用鉄塔施設整備
・整備地区 由利本荘市東由利新沢、鳥海平ノ沢、鳥海村木
・補助率 11/15 (国 10/11、県 1/11)
- (2) 新複合化相談施設整備事業 3,498
新たな総合福祉相談施設の建設地の地質調査を実施する。
・総事業費 約 17.8 億円 (公舎解体経費約 6.4 億円を含む)
・供用開始 令和 4 年度 (予定)
・建設予定地 秋田市手形住吉町
- (3) 人件費 △1,281,896
給与費の決算見込みにより人件費を補正する。
・知事部局等 11,637 千円
・警察本部 △139,668 千円
・教育委員会 △1,153,865 千円
- (4) 公債費 △3,281,900
実績見込み等により減額する。